

9 学生募集に関する事項

受験人口の減少が続く中、大学はまもなく全入時代を迎えようとしている。今日の少子化時代において、志願者獲得の観点からは“改革なくして志願者増なし”の時代であり、各私大は学部新設や学科改組をはじめとする大学改革や受験生ニーズに合致した新しい入試改革を実践しており、大学間競争は従来にもまして激化の様相を呈している。

かかる状況の中、本学が多くの受験生をはじめとする関係者の支持を得るためには、現状に安住することなく時代を先取りした価値ある改革を推し進めるとともに、地域の高校と密接な関係の強化・活性化をはかり堅固な入試広報拠点づくりをするとともに、高大連携事業の推進をも視野に入れた積極的な広報展開が必要である。

2009年度は、次の学生募集戦略にもとづき、積極的な広報活動の展開をはかることとする。

- ①地元京都、滋賀はもとより、大阪北部圏を最重要拠点と定め、有力校との更なる関係強化を構築し、各拠点における志願者件数ナンバーワンを目指す。
- ②「高大連携協定指定校」「大学政策枠指定校」「学部政策枠指定校」を地元のみならず、地方強化の基点と設定し、全国の有力校との密なる関係強化を促進し、優秀な学生の確保に努める。
- ③上記①②の活動を通して、「総志願件数50,000人の確保」を達成し、もって本学の社会的認知度の維持・向上を目指す。

1 2009年度入試制度改革の概要

受験生一人ひとりの個性や得意科目の力を存分に発揮出来るよう多彩な入試方式・併願制度を導入し「受けやすさ」をコンセプトとした従来からの入試改革路線を継承しつつ、2008年度には、大学入試センター入試を利用する入学試験について募集人員の大幅増をはかるとともに新たな入学時奨学金制度を設定し、マーケットニーズに配慮しつつ改革を行った。

2009年度は更なる充実策として、2教科型公募推薦入試及び一般入試における入試方式のバリエーションを付加し、併せてA日程・B日程においては文系・理系ともに選択科目についても配点セレクト方式を採用、受験生の利便性を高め、志願者獲得を目指す。

また、従前から設定している入学時奨学金制度についても、入学後の学修意欲に繋がる制度に拡充し、在学期間中の学業を奨励支援する。

2 2009年度募集人員

2009年度の主な入学試験は、2教科型公募推薦入試が2008年11月29日(土)、30日(日)の2日間、一般入学試験A日程が2009年1月24日(土)、25日(日)、31日(土)の3日間、B日程が2月11日(水)、12日(木)の2日間、C日程が3月7日(土)の予定で実施する。

なお、各学部・学科・専攻における各入試形態の予定募集

人員は「2009(平成21)年度募集人員一覧」のとおりであるが、推薦入試関係の募集人員については、暫時一般入試と同程度の比率まで引き上げ、競合他大学との競争力の維持向上に努める。

3 入学志願者募集活動

従来からの志願者募集活動の基本的戦略に基づき、以下のとおり募集活動を展開する。

- ①志願者獲得における募集活動の基本軸は、キャンパス所在地である地元京滋圏であることを更に徹底、志願者の約3/4を占める地元近畿圏と併せ、進路指導部への積極的な訪問活動を展開する。通学圏内において、特に志願者実績に優れた高等学校をメインターゲットとし、新しい入試方式の詳細や本学の有為なる教育・研究の特長を現場指導者へ浸透させ、伝統に培われた本学の“大学力”に対する理解を深めていく。
- ②受験生向け大学情報の中核を成す「大学案内誌」の更なる充実を模索しつつ、トレンドを的確に反映した刊行を目指す。揺れ動く受験生の心理を把握すべく、その視点でのコミュニケーションツールとして「メールマガジン」をはじめとするモバイルサイトの更なる充実をはかりつつ、ホームページについても受験生と大学との近づきの場であるとの認識に立脚した話題性溢れるPRコンテンツ企画を構築し、タイムリーな情報の提供を推進していく。
- ③オープンキャンパスに代表される各種イベント等は、本学を志望する受験生やその保護者との重要な接触機会と位置づけ、多様なニーズを先取りする内容構成に尽力する。特に近年参加数が顕著に増大している低年次生向けの新たなイベントを構築するなどの展開も検討していく。また、継続して教員対象入試結果説明会や入試直前対策講座などを充実させ、時期に応じた入試情報や教育内容を明確にきめ細やかに発信しつつ、志願者獲得に向け、本学の認知度を高めていく。
- ④全学事務職員で構成する「入試アドバイザー」を引き続き全国で開催される入試相談会への派遣や、課長職位者による大阪圏有力高等学校への訪問、各学部教員による出張模擬講義等へも高大連携推進室と連携をはかりつつ、積極的な参加を推進する。入試部員のみならず、オール龍谷としての体制を発展させていく。
- ⑤学生確保政策における関東圏での学生募集をも一定視野に入れつつ、東京オフィスとの連携を推進し、入試関連媒体機関との密接な協力関係づくりを構築し、入試情報の収集などにも尽力していく。

2009(平成21)年度募集人員一覧

(単位：人)

学部／学科／専攻	入学定員	一般入試		推薦入試		特別入試		募集人員合計		
		一般入学試験	センター試験利用	公募	その他	留学生・帰国生徒	社会人			
文学部	真宗学科	139	60	10	14	55	若干名	若干名	139	
	仏教学科	113	51	6	15	41	若干名	若干名	113	
	哲学科	哲学専攻	69	40	7	10	12	若干名	若干名	69
		教育学専攻	94	48	10	14	22	若干名	若干名	94
	史学科	国史学専攻	69	36	6	10	17	若干名	若干名	69
		東洋史学専攻	69	36	6	11	16	若干名	若干名	69
		仏教史学専攻	69	36	5	11	17	若干名	若干名	69
	日本語日本文学科	94	51	10	12	21	若干名	若干名	94	
英語英米文学科	94	51	10	12	21	若干名	若干名	94		
文学部小計	810	409	70	109	222	若干名	若干名	810		
経済学部	現代経済学科・国際経済学科 (一括募集)	500	290	45	70	95	若干名	－	500	
経営学部	経営学科	445	218	25	86	116	若干名	－	445	
法学部	法律学科	340	191	34	43	72	若干名	－	340	
	政治学科	110	64	11	11	24	若干名	－	110	
法学部小計	450	255	45	54	96	若干名	－	450		
理工学部	数理情報学科	82	34	7	14	27	若干名	－	82	
	電子情報学科	82	34	7	14	27	若干名	－	82	
	機械システム工学科	90	36	9	16	29	若干名	－	90	
	物質化学科	82	34	7	14	27	若干名	－	82	
	情報メディア学科	82	34	7	14	27	若干名	－	82	
	環境ソリューション工学科	82	34	7	14	27	若干名	－	82	
	理工学部小計	500	206	44	86	164	若干名	－	500	
社会学部	社会学科	165	76	18	33	38	若干名	－	165	
	コミュニティマネジメント学科	100	45	10	18	27	若干名	－	100	
	地域福祉学科	125	56	13	25	31	若干名	－	125	
	臨床福祉学科	120	54	13	24	29	若干名	－	120	
社会学部小計	510	231	54	100	125	若干名	－	510		
国際文化学部	国際文化学科	420	190	31	87	82	30	若干名	420	
大学合計	3,635	1,799	314	592	900	30		3,635		
短期大学部	社会福祉科	242	85	10	100	47	若干名	若干名	242	
総合計	3,877	1,884	324	692	947	30		3,877		